

東北の電気とともに

(一社)日本電気協会 東北支部 会報

2026.07

No. 341



男鹿半島 入道崎（秋田県男鹿市）

男鹿半島の最北端にある北緯 40 度線上に位置する入道崎。なだらかな草原の先には雄大な日本海のパノラマが広がります。北緯 40 度を示すモニュメントは男鹿半島・寒風山から産出される安山岩で造られています。また、白黒模様が特徴である「入道崎灯台」は「日本の灯台 50 選」にも選ばれています。

男鹿半島 入道崎



- 秋田自動車道昭和男鹿半島ICから車で約50分。
- JR男鹿駅からタクシーで約30分

Contents

第80回支部大会の開催	1
第79回東北電気関係事業功績・功労者表彰式	5
記念講演 歴史研究家 真田 徹 氏	7
第68回電気安全東北委員会通常総会の開催	8
特別講演 青森大学客員教授 竹林 正樹 氏	9
令和8年電気記念日式典	10
記念講演 作家・歴史家 井沢 元彦 氏	12
協会活動レポート	13
Watt Magazineのご紹介	14
令和8年度「電気使用安全月間」の実施について	15
東北支部からのお知らせ	17
日本電気協会発行DVDのご案内	18
福島応援情報	19

第80回 支部大会を開催

令和 8 年 5 月 28 日（木）、仙台市において第 80 回日本電気協会東北支部 支部大会を開催しました。支部大会には、約 120 名の関係者が出席し、第 1 号議案から第 3 号議案までの各議案を審議し、提案どおり承認されました。

また、関連行事として、支部大会に引き続き第 79 回東北電気関係事業功績・功労者表彰式ならびに記念講演、懇親会を開催。翌日の 5 月 29 日（金）には、東北電力女川原子力発電所の施設見学会を実施しました。



■大会会場



■審議に臨む運営委員

第 80 回支部大会は、樋口支部会長が議長を務め、樋口支部会長および本部貫会長のご挨拶のあと議事に入り、第 1 号議案「令和 7 年度 事業報告および決算報告の件」、第 2 号議案「令和 8 年度事業計画および予算説明の件」、第 3 号議案「運営委員補充の件」について、それぞれ提案どおり承認されました。

支部会長挨拶



日本電気協会東北支部
樋口支部会長

本日はご多用のところ、第 80 回支部大会に、各地からお集まりいただき、誠にありがとうございます。

当支部は皆さまに支えられ、今年で 79 年目を迎えます。電気協会の流れは古く、大正時代から続いておりますが、戦後間もない昭和 22 年（1947 年）11 月、東北電気協会として再出発し、さらに平成 23 年（2011 年）4 月に、日本電気協会東北支部に改組され、現在に至っております。

令和 8 年度に入り、2 カ月が経過しましたが、世界各地における紛争や自然災害は、依然として収束の兆しが見えず、エネルギーを巡る情勢は不透明さを増しております。特に、世界の燃料輸送の要衝であるホルムズ海峡を巡る緊張の高まりは、エネルギー安全保障の重要性を、改めて認識させるものとなっております。日本を含むアジア向けの原油や LNG の多くがホルムズ海峡を通過しており、その影響はエネルギー価格の上昇にとどまらず、物価高騰や資材供給への不安など、国民生活にも広く及んでおります。こうした中、エネルギー需要の面では、AI やデータセンターの普及に伴い、電力需要が増加しており、将来にわたる電力の安定供給確保が、ますます重要になってきております。原子力発電所の状況について申し上げますと、東京電力の柏崎刈羽原子力発電所 6 号機が 4 月 16 日、14 年ぶりに営業運転を再開いたしました。また、定期検査中の東北電力女川原子力発電所 2 号機も、今月 11 日に原子炉を起動し、発電を再開したところです。来月上旬には営業運転を再開する予定となっております。原子力発電所の稼働は、電源の多様化や電力の安定供給、特に夏場の需給対策にも寄与するものと考えております。引き続き、安全確保を最優先に取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

本日の大会は、毎年、東北・新潟各県の持ち回りで開催しており、本年は平成 30 年（2018 年）以来の、宮城・仙台での開催となります。宮城県は豊かな自然と食に恵まれており、特に仙台は「杜の都」の名のとおり、都市景観と緑が調和した美しい街であります。まさに、新緑がまばゆい季節を迎え、仙台市内や近郊の温泉郷、日本三景の松島、蔵王連峰など、県外からお越しの皆さまには、ぜひ宮城の魅力を感じていただければと存じます。

本日の支部大会では、令和 7 年度の事業報告や決算報告などについて、ご審議いただきます。また、この大会終了後には表彰式を行い、引き続き記念講演として、歴史研究家の真田徹様を講師にお迎えし、「幸村の子女たち ～伊達政宗と仙台真田家の歴史～」と題してご講演いただきます。真田様は、宮城県仙台市のご出身で、真田幸村公の 14 代目、仙台真田家の 13 代当主として、真田一族の歴史研究と普及にご尽力されている研究者です。本日は、直系のご子孫ならではの視点から、仙台真田家の歴史について、お話を伺えるものと楽しみにしております。

むすびに、会員の皆さまには、引き続き、当支部活動へのご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げますとともに、本日ご出席の皆さまの益々のご発展とご健勝を心からご祈念申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。

本部挨拶

本日は、第 80 回という節目を迎えます東北支部大会が、このように盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げますとともに、本日ご列席の皆様、会員の皆様には、常日頃から、東北支部及び本部の運営に特別なご支援、ご協力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

また、この後の第 79 回東北電気関係事業功績功労者表彰式において、受賞されます皆様に心からお祝いを申し上げます。

なお、東北支部におかれましては、樋口支部会長のもと、電気安全の確保や電気技術者の育成に加えまして、電気保安に功績あった方々への顕彰や会員相互の交流など、地域のニーズに即したきめ細かな事業に取り組まれていることに、改めて敬意を表したいと思います。

また、先日、三陸沖を震源とする地震や、岩手県大槌町での大規模な山林火災が発生いたしまして、被災されました皆様にお見舞い申し上げますとともに、被害の拡大を防ぐため、大変なご苦労をされた、多くの関係者の皆様に心から感謝を申し上げたいと思います。

さて、国内外の情勢に目を向けますと、米国、イスラエルによるイラン攻撃などを背景とした中東情勢の混迷から、世界のエネルギー情勢は不透明感が増しております。

また、国内では、物価の上昇や少子高齢化による構造的な人手不足など、課題が顕在化しているところです。

一方、原子力業界におきましては、原子力をめぐる動きに重要な進展が見られておるところでございます。

私も再稼働を果たしました、東北電力女川原子力発電所を東北支部のご協力のもと、昨年 2 月に見学をさせていただきましたが、東京電力柏崎刈羽原子力発電所 6 号機が本年 1 月に再稼働を果たし、北海道電力泊原子力発電所 3 号機も再稼働に向けた準備が本格化する見通しが立っております。

また、特定重大事故等対処施設の設置期限を、延長する方針の公表や、東京都小笠原村の南鳥島を対象とした、高レベル放射性廃棄物の地層処分に対する文献調査等につきまして、国の申し入れを同村長が受け入れるなど、国による電力業界の課題解決に向けた対応が進められております。

今夏の電力需給の見通しは、10 年に 1 度の厳しい暑さに対して、電力安定供給に最低限必要な予備率 3% は確保できるものの、8 月は東京が 3.5% 台となるほか、九州・関西なども 9 月には 4% 台となる等、厳しい需給状況が予想されます。

先日、最高気温 40 度以上の日の名称が「酷暑日」に決まったところです。

そのような、災害級の暑さの日が増加する中、電力安定供給はますます重要な課題となってきております。

そして、その電力安定供給の維持確保を支えるのは、人

材と技術とサプライチェーンの維持確保ということです。

電気技術者の育成、電気関係事業の大切さを国民の皆さまに知っていただくことは、私ども日本電気協会の最も重要な課題のひとつです。

このような電気関係事業、電気業界の諸課題について、私ども日本電気協会は、電気安全の確保、電気技術者の確保育成、適時的確な情報発信を三つの柱として、本部、新聞部、そして全国 10 支部からなる当協会の総合力を発揮して、対応して参っております。当協会の使命のひとつであります、適時的確な情報発信を担う電気新聞は、電気事業をめぐるトピックスを日々迅速かつ的確に、また電力システム改革の検討状況や、電気新聞の特別号「早分かり電力取引」のようにわかりやすく報道いたしております。

また、日本の 10 の地域別電力需要や電力スポット市場の企画動向等も、毎日、お知らせをいたしているところです。

なお、昨年 10 月に行いました電気新聞の報道プランの改定による料金値上げにつきましては、皆様のご協力に心から感謝を申し上げます。

そして本日は皆様にお願いがしたいことがございます。

電気新聞について、皆様にもっと役立つものとするために、毎日電気新聞を読んでいただき、改善が望ましい点等がございましたら、各支局の記者等に伝えていただけますと幸いです。

電気新聞は、来年 120 周年を迎えます。

これを機に、読者の皆様に親しみやすく、且つ役に立つように、現在、その改革に挑戦をしているところです。

その成果として、販売部数拡大を実現してまいりたいと考えております。

そして電気事業にとって、さらに貴重な存在となる電気新聞として、引き続き皆様のご支援をお願い申し上げます。

最後にお知らせがあります。今回は 6 月 4 日に 18 年振りの九州開催となります第 105 回社員総会を、ホテルニューオータニ博多にて開催させていただきます。

全国から、電力の首脳や会員の皆様がお越しになり、会員相互の交流を深める良い機会となります。

遠方ではございますけれども、皆様のご来場を心からお待ちしております。

結びに、本日ご列席の皆様、ならびに会員各位のご健勝と、東北支部の今後ますますのご発展を心から祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



日本電気協会
会長

東北支部運営委員名簿

令和 8 年 5 月 28 日現在
(敬称略 順不同)

東北支部役職名	氏 名	所属会社（団体）名	所属会社（団体）役職名
支部会長	樋 口 康二郎	東北電力株式会社	代表取締役会長
支部副会長	安 藤 秀 泰	北芝電機株式会社	取締役社長
//	石 山 一 弘	東北電力株式会社	代表取締役社長 社長執行役員
運営委員	阿 部 俊 徳	株式会社 ユアテック	取締役会長
//	岡 信 慎 一	東日本興業株式会社	相談役
//	小 川 善 之	株式会社かわでん	代表取締役社長
//	加賀田 彰 久	三菱電機株式会社 東北支社	支社長
//	梶 谷 敏 晴	株式会社東芝 東北支社	支社長
//	管 野 秀 幸	通研電気工業株式会社	取締役社長
//	倉 成 祐 幸	北日本電線株式会社	取締役社長
//	高 瀬 賢 二	日本製鉄株式会社	参与 北日本製鉄所 副所長 (釜石地区代表)
//	高根澤 利 夫	酒田共同火力発電株式会社	取締役社長
//	高 橋 智 則	日高商事株式会社	代表取締役社長
//	千 葉 次 信	富士電機株式会社 東北支社	支社長
//	春 浪 隆 夫	一般財団法人 東北電気保安協会	理事長
//	平 野 喜 嗣	東北七県電気工事組合連合会	会長
//	松 田 孝 司	日本原燃株式会社	フェロー
//	茂 泉 勝 弘	古川電気工業株式会社	代表取締役社長
//	山 本 俊 二	東北発電工業株式会社	顧問
// (事務局長)	木 村 一 郎	一般社団法人日本電気協会 東北支部	事務局長
会計幹事	西 山 重 憲	株式会社日立製作所 東北支社	支社長
//	小 野 誠 彦	東北電力株式会社	上席執行役員 総務・地域共創部門長

※任期：令和 9 年開催の「第 81 回支部大会」終結の時まで

顧問・参与

(敬称略 順不同)

東北支部役職名	氏 名	所属会社（団体）名	所属会社（団体）役職名
顧 問	八 島 俊 章	東北電力株式会社	名誉顧問
//	高 橋 宏 明	東北電力株式会社	名誉顧問
//	海 輪 誠	東北電力株式会社	特別顧問
//	原 田 宏 哉	東北電力株式会社	特別顧問
//	増 子 次 郎	東北電力株式会社	特別顧問
参 与	矢 萩 保 雄	株式会社 ユアテック	元取締役会長
//	佐 竹 勤	株式会社 ユアテック	顧問

第 79 回 東北電気関係事業功績・功労者表彰式

（ 考案功績者 6 件 27 名，永年従事功労者 28 事業所 367 名，米寿功労者 98 名 ）

支部大会に引続き，第 79 回電気関係事業功績・功労者表彰式が行われました。

表彰式は，樋口支部会長の式辞後，表彰に移り，それぞれ表彰受賞の代表者に対し，樋口支部会長から賞状と記念品が授与されました。

代表受賞者の皆さま

考案功績者表彰 特別功績賞	河 村 拓 郎 様 (東北電力ネットワーク株式会社)
	風 張 勇 介 様 (東北電力ネットワーク株式会社)
	柴 田 豊 様 (東北電力ネットワーク株式会社)
	山 田 信 一 様 (東北電力株式会社)
	和 田 義 将 様 (株式会社日立製作所)
考案功績者表彰 特別功績賞	有 松 健 司 様 (東北電力株式会社)
	戸 田 祐 介 様 (株式会社アイテス)
	柴 田 千代美 様 (株式会社アイテス)
	池 田 輝 雄 様 (株式会社アイテス)
	松 下 英 司 様 (株式会社アイテス)
考案功績者表彰 最優秀考案賞	松 木 景 尚 様 (株式会社ユアテック)
	谷 米 貴 洋 様 (株式会社ユアテック)
	三 浦 広 治 様 (株式会社ユアテック)
	小 倉 俊 二 様 (株式会社タダノ)
	丹 羽 涼 介 様 (株式会社タダノ)
考案功績者表彰 最優秀考案賞	小 山 昌 信 様 (東北計器工業株式会社)
	石 川 舞 己 様 (東北計器工業株式会社)
	大 町 良 徳 様 (東北計器工業株式会社)
	黒 沼 貴 博 様 (東北計器工業株式会社)
考案功績者表彰 優秀考案賞	小 林 敬 道 様 (通研電気工業株式会社)
	菊 池 心 様 (通研電気工業株式会社)
	菊 地 大 輔 様 (通研電気工業株式会社)
	奥 山 魁 様 (通研電気工業株式会社)
考案功績者表彰 優秀考案賞	佐 藤 直 之 様 (一般財団法人東北電気保安協会)
	鈴 木 武 之 様 (一般財団法人東北電気保安協会)
	丹 野 桂 祐 様 (一般財団法人東北電気保安協会)
	齋 藤 慎 一 様 (一般財団法人東北電気保安協会)
永年従事功労者表彰	伊 藤 正 男 様 (一般社団法人東北電気管理技術者協会)
ほか 366 名	

授与後，米寿功労者表彰についてご紹介をいたしました。

今回の米寿功労者の皆さまは青森県 3 名，岩手県 4 名，秋田県 4 名，宮城県 50 名，山形県 10 名，福島県 10 名，新潟県 15 名，東京都 2 名の計 98 名の皆さまが受賞され，表彰状と記念品は米寿功労者の皆さまのご自宅へお贈りしております。

米寿功労者表彰紹介後，来賓の皆さまよりご祝辞をいただきました。

(来賓の皆さま) 宮城県副知事 (知事代理) 小林 徳光 様
 仙台市副市長 (市長代理) 高橋 新悦 様
 仙台商工会議所副会頭 (会頭代理) 山本 俊二 様
 経済産業省関東東北産業保安監督部
 東北支部長 川村 伸弥 様



■表彰式に臨む受賞者の皆さま



■樋口支部会長から受賞者への表彰状授与

式 辞

日本電気協会東北支部
樋口支部会長



本日ここに第 79 回東北電気関係事業功績・功労者ならびに令和 8 年米寿功労者の方々の表彰式を執り行うにあたり、ご来賓の皆さまにはご多用のところご臨席を賜り、また会員の皆さまにも多数ご出席をいただき、厚く御礼申し上げます。

公務ご多用の中ご臨席を賜り、後ほどご祝辞を頂戴いたします、ご来賓の皆さまをご紹介申し上げます。宮城県副知事 小林 徳光様、仙台市副市長 高橋 新悦様、仙台商工会議所副会頭 山本 俊二様、経済産業省関東東北産業保安監督部東北支部長 川村 伸弥様でございます。皆さまに重ねて御礼申し上げます。

本日は、電気関係事業において顕著な功績を挙げられました考案功績 6 件 27 名、25 年以上職務に精励された、永年従事功労者 28 事業所 367 名の方々を表彰するものでございます。さらに、東北支部独自の米寿功労者表彰として、今年は 98 名の方々を顕彰いたします。

考案功績表彰を受賞される皆さまは、技術開発や資機材開発を通じ、電気事業の発展に大きく貢献されました。また、永年従事功労を受賞される皆さまは、長年にわたり電気関係事業の第一線で地域と社会を支えてこられました。受賞される皆さまには、今後とも持てる力を存分に発揮され、電気事業の発展、さらには地域社会の発展のために、なお一層ご活躍されますことを心よりご期待申し上げます。

さらに、当支部では、これまで電気事業の発展にご尽力いただき、今年、米寿を迎えられる先輩方に対し、そのご功績を称え、感謝状と記念品をお贈りしております。米寿表彰を受けられる皆さまにおかれましては、今後とも私ども後進に対し、変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日ご出席賜りましたご来賓の皆さまをはじめ、受賞者ならびに会員の皆さまの益々のご健勝とご発展をご祈念申し上げ、式辞といたします。

来 賓 祝 辞



宮城県副知事
小林 徳光 様
(知事代理)



仙台市副市長
高橋 新悦 様
(市長代理)



仙台商工会議所副会頭
山本 俊二 様
(会頭代理)



経済産業省関東東北産業
保安監督部東北支部長
川村 伸弥 様



講師 歴史研究家 真田 徹氏

幸村の子女たち ～伊達政宗と仙台真田家の歴史～

歴史研究家の真田徹氏を講師にお迎えし、「幸村の子女たち ～伊達政宗と仙台真田家の歴史～」と題した記念講演を開催いたしました。

講師ご自身が真田幸村の子孫であることから、幸村の人物像だけでなく、その子どもたちが戦乱の時代をどのように生き延び、新たな歴史を紡いでいったのかという、たいへん興味深いお話を聞かせていただきました。

講演では、幸村の生涯をたどりながら、大坂の陣後に子女が辿った運命、伊達政宗による庇護、そして仙台藩で形成された「仙台真田家」の歩みを丁寧にご紹介いただきました。

真田家の知られざる側面に触れる内容は、真田ファンのみならず、歴史を愛する多くの方々にとっても大変魅力的であり、会場は熱心に耳を傾ける参加者の皆さまで大いに盛り上がりしました。

【講演の概要】

《真田氏の起源》

「真田」という名字は、一般には戦国武将の家名として知られておりますが、本来は地形に由来する姓であり、全国に広く分布していることが説明されました。

戦国期の真田氏は、信濃国の名族・海野氏の一族から派生し、幸隆・昌幸・幸村の三代にわたり歴史に大きな足跡を残しました。

《第一次・第二次上田合戦》

特に昌幸と幸村の時代は、真田家にとって最も劇的な時期でありました。

昌幸は三男ながら、兄の戦死により家督を継ぎ、第一次・第二次上田合戦では、徳川軍を巧みに翻弄しました。

幸村は、豊臣政権下で武将としての地位を確立し、関ヶ原の戦いでは父とともに西軍に属しましたが、敗戦後は紀伊国・九度山へ流罪となりました。

《大坂の陣と子女の運命》

九度山での生活は厳しいながらも一定の自由があり、この間に幸村は多くの子どもをもうけました。

大坂の陣が迫ると、娘の阿梅を伊達家に預けて戦乱後の身の安全を確保しようとしたと伝えられています。

阿梅は片倉小十郎重長に保護され白石で生活し、のちに他の兄弟姉妹もこれを頼って東北へ移住し、仙台藩内で新たな真田家の血筋が形成されました。

《伊達政宗の庇護》

背景には、妻・竹林院の存在が大きく関わっており、父・大谷吉継ゆずりの広い人脈を活かして、子どもたちの保護や縁組を進めました。

また、伊達政宗が旧西軍の人々を積極的に庇護したことにより、幸村の子どもたちは伊達家、商人層、武家へと分散し、それぞれが生き延びていきました。

《その後の真田家》

男子は幕府に脅威と見なされ、死亡偽装など複雑な処置が施されましたが、仙台に移った系統は約 100 年後には正式に「真田」姓へ復帰し、明治維新まで家系を保ち続けました。

《最後に》

戦の表舞台に立つ武将の陰で、子どもたちがいかに生き延びたのか。本講演は、その知られざる歴史を丁寧に掘り起こす内容となりました。



第 68 回 電気安全東北委員会通常総会の開催



■総会風景

電気安全東北委員会（委員長：春浪隆夫・一般財団法人東北電気保安協会理事長）は 6 月 3 日（水）、仙台市において第 68 回通常総会を開催しました。2025 年度の事業・決算を報告したほか、9 月 10 日に開催予定の電気保安功労者表彰などを含む 2026 年度事業計画・予算の議案について、いずれも提案どおり承認されました。

冒頭であいさつした春浪委員長は、「人工知能の普及拡大による電力需要の増大や激甚化する自然災害への対応など、電気に携わる関係者の果たすべき役割が大きくなっている」との認識を示しました。その上で「電気は日常生活を支える基盤であり、暮らしと地域の発展のために電気の安全と保安の確保に取り組む」と決意を示しました。

また、「2025 年度の電気事故は前年度より抑制されたものの感電死亡する痛ましい事故が発生しており、死亡事故ゼロを第一の目的に、電気事故

の撲滅に向けて積極的な活動を展開する」と述べられました。

さらに、イラン情勢の緊迫化など地政学的な緊張や



■挨拶をする春浪委員長

経済の不安定化によるエネルギー価格や社会経済活動への影響にも触れ、「エネルギー安全保障の重要性が一段と高まり、電気関係事業が果たす役割はさらに大きくなっている」とも述べられました。

総会では、決定した事業計画にもとづき、関係機関や諸団体と連携した活動を展開し、電気使用者の自主保安体制の促進ならびに電気災害防止に向けて取り組むこととしました。

特別講演

なぜあの人は安全行動しない？ ～ナッジで自発的に行動へ動かす～

講師 青森大学客員教授 竹林 正樹 氏

なぜあの安全行動しない？
～ナッジで自発的に行動へ動かす～



青森大学 竹林正樹



電気安全東北委員会第 68 回通常総会後には、青森大学客員教授の竹林正樹氏を講師にお迎えして、行動経済学を専門とする立場から「なぜあの人は安全行動しない？ ～ナッジで自発的に行動へ動かす～」と題した特別講演を開催しました。

講演に入る前に、先生の掛け声によりグーパー体操を聴講者全員で行いました。最初に「片手を胸の前で握り、もう一方の手は前に出して開く」この動作を左右連続して、交互に行いましたが、皆さんは上手く出来ます。

次に「片手を胸の前で開き、もう一方の手を前に出して握る」動作を行いましたが、単に手を握る（グー）と開く（パー）を逆にしただけでも、なかなか連続して動作することが出来ません。頭では分かっている、その動作ができないという体験でしたが、このアイスブレイキングにより、参加者は緊張がほぐれて会場全体も和やかな雰囲気に包まれました。

この体験を踏まえたうえで、人の行動に影響する心理と習性、および人を動かす打ち手の一つであるナッジについて、分かりやすく解説していただきました。

講演の概要は、次のとおりです。

《直感と理性の関係》

人は「大切だと分かっているのに行動しない」ことがあります。その理由は、判断の 90% 以上を担う直感の影響が大きいためです。直感は「象」のように巨大・本能的・強力であり、理性はその象を調教するような存在ですが、理性を働かせるには大きなエネルギーが必要であり、脳を疲弊させてしまいます。そのため、日常の判断は直感に頼ることで効率化されています。

《様々な心理バイアス》

直感は、自分が好きで面倒くさがり屋さんなので、常に楽を求めます。

講演では、行動を左右する代表的な心理バイアスが紹介されました。

「認知バイアス」

自分を都合よく解釈する傾向があります。認知バイアスは、正しい方向とはズレが生じてしまうことです。

「現状維持バイアス」

現状に愛着を感じ、変化を面倒に感じる心理です。疲れていることで、理性よりも現状を選んでしまいます。実例として、ある国では裁判官の仮釈放申請の承認率が、昼休み前後で大きく異なったそうです。相手に何か話をするなら、相手の疲れていない時間帯を選ぶのが良いでしょう。

「プライミング効果」

最初の刺激が後の判断に影響します。頭を上下に振った A

グループ、そして横に振った B グループでは、A グループは賛成が多くなります。提案するなら、相手の受入体制を整えてからにしましょう。

「ピークエンドの法則」

最後の印象が記憶に強く残ります。例えば、内視鏡検査中は痛みが少なくても、終了時に痛みのピーク（嫌な記憶）を覚えた患者は、不満を訴えやすいそうです。最後を美しく終えることが大切です。

「現在バイアス」

面倒なことは先送りし、目の前の誘惑を最大評価してしまうことです。

「認知容易性バイアス」

見やすい、理解しやすいものに心を許し易くなる心理です。

《木綿のハンカチーフとリアクタンス》

太田裕美さんの『木綿のハンカチーフ』には、一節で「いいえ あなた 私は欲しいものはないのよ」という印象的なフレーズがあります。この「いいえ」から始まる否定表現は、歌としては感情を引きつける効果はあります。

リアクタンスとは、人は自分の自由が奪われそうになると、逆にその自由を守ろうとして反発する傾向です。否定表現は、聞き手に「自分の選択肢が狭められた」と感じさせやすく、結果として行動を拒否したくなる方向に働くことがあります。

この歌のフレーズは、芸術的には魅力的な表現ですが、ナッジが目指す「行動しやすい状況づくり」とは方向性が異なります。

《自発的な行動へ動かすナッジ》

これらの心理傾向は予測可能であり、行動を阻害する心理を抑えて、促進心理を味方にする、望ましい行動へ導くことができます。“ナッジ”とは、「そっと背中を押す」行動設計です。

ナッジを活用するうえでは、以下のとおり EAST が重要となります。

- ・ Easy (簡単に) 行動しやすい
- ・ Attractive (魅力的に) 人が思わず選びたくなる
- ・ Social (社会的に) 周囲の人の行動や社会的規範を示し、「みんなやっている」と伝える
- ・ Timely (タイムリーに) 行動しやすいタイミングで促す

人が自然に行動するためには、迷わず選べるように行動の方向の一つに絞った、シンプルな仕組みが効果的です。ただし、ナッジは人の意思決定に影響を与えるため、倫理的な配慮が欠かせません。また、ナッジだけでは行動を続ける力が弱くなりやすいので、必要な情報をあわせて提供し、継続を支える工夫も重要です。

最後に、講演は参加者の心理傾向を踏まえて構成されており、随所にクイズが盛り込まれ、津軽弁を交えた語り口調も相まって、楽しくユーモアのある印象的な内容となっていました。

会場では、参加者が頷きながら熱心に耳を傾けており、日常の行動改善や安全行動につながるヒントが得られる講演でした。

令和 8 年 電気記念日式典



■式典会場風景

明治 11 年 3 月 25 日にわが国で初めて電灯が灯ったことを記念する「電気記念日式典」（主催：電気記念日行事東北実行委員会）が、令和 8 年 3 月 25 日（水）、仙台市で開催され、電気関係者など約 200 名が参加しました。

《式辞と傘寿功労者のご紹介》

式典では、日本電気協会東北支部 樋口支部会長が式辞を述べ、続いて電気事業の発展に長年尽くされた傘寿功労者 210 名の紹介が行われました。

《来賓ご挨拶》

経済産業省東北経済産業局 佐竹局長からは、中東情勢の緊迫化やホルムズ海峡リスクの顕在化、ロシア・ウクライナ戦争、米中関係などにより、エネルギー問題が再び国家の安全保障に影響を与えている現状について言及されました。

また、DX・GX の進展に伴い、今後、電力需要が増加する見通しであることに加え、AI・半導体、医療、防衛など多様な分野では、いずれもエネルギーの安定供給が前提とされており、その重要性が一段と高まっていると述べられました。

さらに、東北地域は洋上風力や地熱発電等の導入ポテンシャルの高い地域であり、原子力関連施設が集積する脱炭素電源の一大拠点であると示され、大規模な脱炭素電源や送電網整備への積極投資が不可欠であるとの見解を示されました。

加えて、新規投資を促進する事業環境整備とファイナンス環境整備のための電気事業法改正案は、3 月 24 日に閣議決定されたことを紹介いただきました。

最後に、新たな電力システム構築に向け、官民一体で取り組んでいく旨が示されました。

《記念講演》

式典後、作家・歴史家の井沢元彦氏による「歴史に学ぶ 未来をどう予測するか？」と題した記念講演が行われました。

井沢氏は、歴史の視点から現代社会の課題を読み解く興味深い内容が語られました。



来賓挨拶

東北経済産業局長
佐竹 佳典 様



■今年の記念日ポスター

式 辞

日本電気協会東北支部
樋口支部会長

主催団体を代表して、ご挨拶申し上げます。本日 3 月 25 日は「電気記念日」です。この記念日は、今から 148 年前の明治 11 年（1878 年）3 月 25 日、東京・虎ノ門の工部大学校、現在の東京大学工学部の講堂で、我が国で初めて電気の明かりが灯されたことを記念し、日本電気協会が昭和 2 年に制定したものです。当時、講堂にはアーク灯が灯され、その明るさに人々が驚嘆したと記録されています。

一方、東北では、その 10 年後の明治 21 年（1888 年）、仙台市三居沢の紡績工場において、水力発電によるアーク灯が点灯されたことが最初とされています。この三居沢は、日本の水力発電発祥の地として知られています。現在は東北電力の三居沢発電所となり、今なお現役で稼働しています。隣接する三居沢電気百年館では電気の歴史を紹介しておりますので、ぜひ一度、足をお運びいただければと思います。また、そこには東北の電気関係事業の発展に功績のあった方々の慰霊碑もあり、電気を送り続けてきた先人の方々の使命感とご努力に思いを致すところがございます。

このような長い歴史の中で、電気事業は我が国の発展とともに成長し、経済・産業・社会の発展を支える重要な基盤として、大きな役割を果たしてまいりました。近年は、AI や IoT などのデジタル技術の進展により、電気は暮らしや産業はもとより、交通、医療、通信など、あらゆる社会システムを支える基幹インフラとして、その重要性が一層高まっています。当支部におきましても、東北の電気関係事業の発展、地域産業の振興と文化の進展に寄与することを目的に、電気安全・保安確保の推進、電気技術者の育成、電気知識の普及啓発に取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

近年、我が国では地震、豪雨、林野火災などの自然災害が頻発・激甚化しており、災害時の迅速な設備復旧や停電の早期解消など、災害に強い電力インフラ構築の重要性を改めて感じております。また、ロシアによるウクライナ侵攻や、最近では中東情勢の緊迫化など、国際的なエネルギー市場の不安定化が続く中、エネルギー安全保障の重要性も改めて認識されているところです。昨年 2 月に閣議決定しました、第 7 次エネルギー基本計画では、安全性の確保を大前提に、安定供給、経済効率性、環境適合をバランスよく実現することが掲げられており、その一翼を原子力発電が担うことが示されております。こうした中、東北電力の女川原子力発電所 2 号機は、東日本大震災以来 14 年ぶりに営業運転を再開して以降、安定した運転を継続しており、本年 1 月からは、再稼働後初となる定期事業者検査が実施されているところです。引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

今日の電気事業の発展は、これまで電気事業に深く携わってこられた多くの諸先輩方の、弛まぬ努力の積み重ねによるものであります。日本電気協会では、そのご功績を称え、毎年、傘寿を迎えられる皆さまに感謝状と記念品をお贈りしております。傘寿を迎えられる皆さまのこれまでのご功績に、深く敬意と感謝を申し上げますとともに、今後ともご健康に留意され、電気関係事業の発展のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

記念講演



歴史に学ぶ 未来をどう予測するか？

講師 作家・歴史家 井沢 元彦 氏

作家・歴史家の井沢元彦氏を講師にお迎えし、「歴史に学ぶ 未来をどう予測するか？」と題した記念講演を開催いたしました。

日本人が歴史を語る際に、陥りやすい内向き思考の問題を指摘し、専門家に偏った歴史理解では全体像が見えにくくなること、江戸期の林子平が海防の重要性を訴えながらも、身分を理由に退けられた事例を紹介し、国内だけを見ていた徳川政権の限界を示しました。

また、韓国の歴史教育に起因する反日感情や、元寇で武士の功績が正当に評価されなかった背景など、現代にも通じる構造的課題を挙げ、歴史を理解するには事実の背後にある思考を読み解く広い視野が必要だと強調しました。

【講演の概要】

《島国がゆえに陥る内向きの思考》

井沢氏は冒頭、専門分野に深く研究する歴史学者の役割は重要であると認めつつも、特定領域に偏ることによって歴史全体を見渡しにくくなると述べました。

日本は島国であるため、国内中心の発想に陥りやすく、その傾向が歴史理解にも影響すると指摘しました。

《林子平の視点》

具体例として、江戸時代の思想家・林子平を取り上げました。

林は『海国兵談』で、日本は海に囲まれているから安全なのではなく、海は国境のない道であり、外からの脅威は常に存在すると警告しました。

しかし幕府は、内容ではなく身分を問題視し、書物を発禁としました。

井沢氏は、世界情勢を踏まえていた林の視点と、国内に目を向けていた徳川政権の姿勢を対比させ、視野の広さの重要性を示しました。

《韓国問題と歴史認識》

また、韓国の歴史教育に根づく反日感情についても言及しました。

感情の問題ではなく教育制度の構造が背景にあり、竹島問題を棚上げしても根本的な解決にはつながらないと述べました。

歴史的事実を共有する努力が必要だと強調しました。

《日本人の平和観と軍事嫌悪》

日本人は、昔から平和を絶対視する傾向があり、それ自体はもちろん良いことである一方、その反動として軍隊を「人殺し」と結びつけてしまう意識が強いと井沢氏は語りました。

明治期には、列強に圧倒されては大変だという危機感から軍備を整えましたが、昭和20年に多大な犠牲を経験したことで軍事への嫌悪感はいっそう強まった。

こうした歴史の積み重ねが、現在の日本人の独特の平和観を形づくってきたというのが井沢氏の見解です。

《おわりに》

井沢氏は、歴史には学問的な分析だけでは見えてこない領域があると述べて、自身が「歴史学者」ではなく歴史家と名乗る理由を語りました。

事実の背後にある人間の思考、時代の構造を読み解く視点こそが重要であり、広い視野で歴史を捉える姿勢が必要だと強調し、講演を締めくくりました。



TOPICS 1

2025 年度 東北電気関係事業考案・研究発表会

2026 年 2 月 4 日（水）、東北電力本店ビルにて、課題解決に向けたプロセス、ならびに研究成果の共有を目的に、以下 6 件のテーマについて発表いただきました。

本発表会は、当支部管内の電気関係事業の技術水準の向上と技術開発の推進を図ることを目的に、1988 年より開催し今回で 37 回目となります。

発表会の開催により、参加者・企業を含め、新たな発想や最新技術を知る機会となりました。



発表テーマ	会社名	発表者氏名
高所作業車における圧縮スイッチ無線化の開発	株式会社ユアテック	平塚 大介 様
配電 S V 表示装置の開発	通研電気工業株式会社	小林 敬道 様
「第 2 世代低圧スマートメーター用無停電取替工具」の開発	東北計器工業株式会社	石川 舞己 様
太陽電池絶縁診断装置の開発	一般財団法人 東北電気保安協会	丹野 桂祐 様
引込線以下設備不良予兆検知システムの開発および実用化について	東北電力ネットワーク株式会社	柴田 豊 様
P V 遠隔安全診断システムの開発	東北電力株式会社	有松 健司 様

TOPICS 2

高圧ケーブル工事技術講習会

高圧自家用需要家に布設する高圧ケーブル工事に関わる技術者の育成ならびに施工技術の向上、さらには施工不良に起因する波及事故の防止を図るため、今年度も東北・新潟の各県の 12 ヶ所で計 16 回の開催を計画しています。

今年度の第一四半期は下表のとおり実施（延べ 82 人が受講）し、スキルの習得を図りました。

会場	開催日	受講数
大崎市	4 月 16 日（木）～ 17 日（金）	22 名
上越市	5 月 21 日（木）～ 22 日（金）	36 名
青森市	6 月 11 日（木）～ 12 日（金）	24 名



TOPICS 3

低圧電気取扱者に対する労働安全衛生特別教育講習会

2026 年 5 月 15 日（金）および 6 月 26 日（金）に仙台市内で開催しました。

本講習会は、労働安全衛生法第 59 条、および同規則第 36 条により、事業者がこれから低圧電気取扱者に対して実施すべき特別教育を、事業者が代わりに実施しているものです。

当日は、電気関係法令、低圧の電気に関する基礎知識、開閉器操作等の実技講習を実施しました。

なお、講習修了者には、「特別教育修了証」、その事業者には「特別教育修了証明書」を交付しました。

TOPICS 4

第一種電気工事士技能試験受験準備講習会

2026 年 6 月 6 日（土）～ 7 日（日）、東北工業大学八木山キャンパス（仙台市）で開催しました。

本講習会は、技能試験（7 月）の受験予定者を対象に、試験合格に必要な技能習得を目的としたものです。

1 日目は、時間内に完成することができない受講者も見られましたが、講師の熱心かつ丁寧な指導により、2 日目には、時間内に完成できるレベルまで到達しました。



これからお仕事を探す学生や求職者に
電気業界の魅力とリアルな現場の声を配信中!!

電気を「作る」「届ける」「守る」 3つのスペシャリストたち

作る



電気工事士

コンセントや配線などをはじめとする電気設備の工事を行うスペシャリスト。住宅、オフィスビル、イルミネーションなど電気が必要ならあらゆる場所で活躍。

届ける



ラインマン / 配電マン

鉄塔工事、鉄塔間の架線工事等、高所作業のスペシャリストとして活躍。(通称:ラインマン)
電柱や電線等の工事や点検、修理を行い、停電時には迅速な復旧作業でも活躍。(通称:配電マン)

守る



電気主任技術者

オフィスなどで使用される電気のために設置された受電設備をはじめとする電気設備の維持・点検を行う保安のスペシャリストです。発電所、工場、ビル、コンビニなどさまざまな施設で活躍しています。

電気業界に関する情報満載!!

トップページ



ワンタッチですぐに見たい記事を探せる!!



3つの知りたいから見つかる電気業界情報!!



・電気業界の仕事とは?
・現場インタビュー
・現場レポート



・電気の資格アレコレ
・電気業界への転職ガイド



・最新テクノロジー
・電気機器のしくみ
・電気業界用語辞典
・電気の歴史

CHECK 電気イベント情報掲載!!

電気業界でキャリアを考える方に向けた様々なイベント情報をお届けします。業界に触れる絶好のチャンスをお見逃しなく!

・企業説明会
・体験イベント
・セミナー
・講習会



電気保安・電気工事業界の
認知度向上・入職促進に向けた協議会

Watt Magazineサイトに今すぐアクセス!!

ワットマガジン



ホームページは
こちら ▶



X (旧: Twitter) はこちら
Follow me!!
@WattMagazine_JP



令和8年度「電気使用安全月間」の実施について

夏場は発汗等により身体に電気が流れやすく、感電事故が発生しやすい傾向にあることから、経済産業省主唱により昭和56年から毎年8月を「電気使用安全月間」と定め、電気事故の防止を図るため、全国一斉に電気使用安全運動を展開しています。

電気安全東北委員会においても、電気安全全国連絡委員会の重点活動テーマをふまえ、各県の委員会や関係団体と連携し、関係官庁等の支援・協力を得て諸活動を展開しています。

特に、7月は本運動の準備期間として、電気事故等の概要や関係法令等に関係する講習を通じて、電気災害や自家用波及事故の未然防止を目的に「電気安全講習会」を開催しました。

また、8月3日には、主要な都市の駅前などで「街頭キャンペーン」活動を実施します。

【重点活動テーマ】

<一般向け>

- 見えない電気の危険を知り、配線やコンセントを見直すことで感電・火災を防ぎましょう
- 無資格者の電気工事は法令違反です、必ず電気工事士の資格を持った方に依頼しましょう

<自家用設備向け>

- 電気設備の点検作業を行う際は、安全に保守点検が行えるような対策を構築しましょう
- 受変電設備に立ち入る際は、事前に電気主任技術者に連絡しましょう

<自然災害対策>

- 地震、雷、風水害などの自然災害に備えた電気設備の対策を講じ、安心・安全な生活を守りましょう



■あなたが防ぐ電気事故



■波及事故 防止対策していますか？



■夏休み みんな楽しく安全に。



■建設現場の電気安全



■感電事故防止
電線に注意しましょう！



■電気を上手に安全に使いま
しょう

【電気安全講習会の開催】

7月14日（火）から30日（木）の間、東北および新潟の7会場において、関東東北産業保安監督部東北支部の後援のもと、以下の関係5団体との共催により「電気安全講習会」を開催し、電気安全の高揚を図りました。

1. 実施個所

主催：電気安全東北委員会

共催：（公財）東北電業会 （一財）東北電気保安協会 東北電力ネットワーク（株）

（一社）東北電気管理技術者協会 （一社）日本電気協会東北支部

後援：関東東北産業保安監督部東北支部

2. 講習内容

○令和7年度の電気事故ならびに自家用電気工作物に係わる立入検査結果等

○送配電設備の供給支障事故防止対策ならびに感電防止対策等

3. 開催結果

開催地	開催月日	会場名
青森県青森市	7月15日（水）	青森県観光物産館アスパム
岩手県奥州市	7月16日（木）	奥州市文化会館Zホール
秋田県由利本荘市	7月14日（火）	ボートプラザアクアパル
宮城県仙台市	7月23日（木）	東京エレクトロンホール宮城
山形県酒田市	7月22日（水）	希望ホール
福島県会津若松市	7月24日（金）	会津若松市文化センター
新潟県新発田市	7月30日（木）	新発田市生涯学習センター



■ 7月14日 由利本荘市会場

令和8年度 東北電気関係事業功労者 合祀祭神申告のお願い

当支部では毎年、東北電気関係事業功労者慰霊碑に物故功労者を奉り、感謝報恩の誠を顕す合祀慰霊祭を挙げており、本年は9月25日（金）に予定しております。

つきましては、令和7年8月1日から令和8年6月30日までの物故者で功労のあった方を、下記のとおりご申告下さいますようお願い申し上げます。

なお、これまでの物故者でご申告されていない方がおられましたら併せて申し受け致します。また、個人情報につきましては、個人情報保護法に基づき、他の目的で使用いたしません。

また、申告いただきました企業様には、玉串料として分担金（2万円）のご負担をお願いいたします。

記

1. 該当者 令和7年8月1日から令和8年6月30日までの物故者
※前は7月31日までの物故者でしたが、今回より変更しました。
※詳細は、下欄に記載の内規によります。
2. 申告期日・方法 令和8年8月10日（月）・東北支部まで郵送
準備の都合上、必着でお願い致します。

【申告様式は任意としますが、次の（1）～（7）は必ず記載下さい】

- | | |
|---------------------|---|
| （1）氏 名（ふりがな） | 例：東北 太郎（とうほく たろう） |
| （2）最終職場 | 例：〇〇〇〇株式会社 |
| （3）逝去年月日および死因 | 例：令和〇年〇月〇日
※死因は、業務上死亡の場合のみ「業務上」と記載下さい。 |
| （4）功績者の大要 | 例：昭和〇年〇月〇日 永年従事功労者表彰 |
| （5）入社年月日および退職年月日 | 例：入社 - 昭和〇年〇月〇日
退職 - 昭和〇年〇月〇日 |
| （6）申告会社（団体）名および代表者名 | 例：〇〇〇〇株式会社
取締役社長 〇〇〇〇
代表者印（公印）を押捺して下さい。 |
| （7）担当者名および連絡先 | 例：総務部 〇〇〇〇 TEL 〇〇〇〇 |

お問い合わせ先 （一社）日本電気協会 東北支部／ TEL022-222-5577 FAX022-222-6006

慰霊碑合祀祭神決定内規

慰霊碑に合祀する祭神は、次に該当するものとする。

（一社）日本電気協会東北支部法人会員の従業員および個人会員で、下記に該当する者は当支部において建立した慰霊碑に合祀し、祭祀を行う。

- （1）法人会員の従業員で、電気関係事業に通算25年以上従事し、忠実精励な者。
ただし、名誉を毀損する等の行為があった者は除く。
- （2）法人会員の従業員で、業務上災害により死亡した者。
- （3）個人会員として、通算10年以上入会していた者。
ただし、会員としての名誉を毀損する等の行為があった者は除く。
- （4）当支部において、功績者または功労者として表彰した者。
（※東北支部会長から、考案功績、善行功績、永年従事功労等で表彰を受けた方）

日本電気協会発行の電気安全DVDのご案内

臨場感がある映像で分かりやすく学べます！電気安全DVDをぜひご活用ください！

シリーズ
第1作



電気主任技術者物語 めざせ！電気保安のプロ シリーズ

第一話 キュービクルの基本構造と機器

収録時間：54分

定価：55,000円(税込)

－主な内容－

- ①高圧受電設備の種類
- ②主遮断装置「CB形」と「PF・S形」
- ③責任分界点と区分開閉器
- ④区分開閉器（PAS）の操作
- ⑤キュービクル式高圧受電設備の機器

新人電気主任技術者向け教育シリーズ、第一弾！今回は、キュービクル式高圧受電設備の基本構造や操作方法を中心に、区分開閉器や責任分界点などの基礎知識についても映像やアニメーションを用いて分かりやすく解説します。

期待しているぞ！

頑張ります！

売上
No.1



新・低圧電気取扱の基礎知識 5巻セット

収録時間：152分

定価：160,600円(税込)

低圧電気取扱特別教育の学科別に、講義だけでは伝えにくい内容をCGや現場の再現映像でわかりやすく解説します。

「見てナットク！低圧電気の基本知識」
「これでまるわかり！低圧の電気設備」
「使い方がわかる！安全作業用具」
「動きがわかる！低圧活線作業・活線近接作業」
「大切さがわかる！低圧電気の関係法令」
のシリーズ5作をひとつにまとめたセットです！

約1本分
40,700円(税込)
おトク!!

売上
No.2



感電事故の救急処置 事故に直面した時どう対応すべきかー

収録時間：32分

(付録映像9分)

定価：49,500円(税込)

－主な内容－

- ①感電と電撃症のメカニズム
- ②感電事故の救急処置（救急処置のポイント）
- ③熱傷の応急処置
- ④骨折の応急処置
- ⑤熱中症の応急処置
- ⑥スズメバチ等に刺された時の応急処置

感電事故時の胸骨圧迫、AEDを用いた救急処置、熱傷・骨折・熱中症の応急手当など、工場・事業所などで起こり得る様々な事故への対応を、臨場感あふれる映像とともに学べます。新たな事例として、スズメバチ等に刺された時の応急処置を追加しました。

売上
No.3



電気主任技術者に連絡した？

作業前は電気主任技術者に連絡を！電気事故事例、その原因と再発防止策

収録時間：30分

定価：49,500円(税込)

－主な内容－

- ①工場設備の改修工事計画に係る感電事故
- ②高圧ケーブル敷設工事に伴う感電事故
- ③自家用電気工作物からの波及事故
- ④漏電遮断器取替作業中のアーク火傷事故
- ⑤ブラインド交換作業時に発生した感電・転落事故

電気主任技術者への連絡を怠ったことによる重大事故が多発しており、経済産業省から注意喚起がなされています。それを受け、実話をベースに電気事故事例とその原因、再発防止策を臨場感あふれるドラマで表現しました。

日本電気協会東北支部からお買い求めください。

<https://www.jea-tohoku.jp/category/1481566.html>

お問合せ先 一般社団法人 日本電気協会 東北支部

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2-9-10

TEL:022-222-5577 FAX:022-222-6006

送料（1か所あたり）

全国一律880円(税込)



ふくしまならではの新しいスタディツアー ～ホープツーリズム～

ホープツーリズムとは

世界で類を見ない「複合災害（地震・津波・原子力災害・風評被害）」を経験した唯一の場所である福島県で、複合災害の教訓などから「持続可能な社会・地域づくりを探究・想像する」福島オンリーワンの新しいスタディツアーです。

令和7年度（令和7年4月～令和8年3月）のホープツーリズムの参加件数は、事業を開始した平成28年度以降、過去最高を記録し、486件（19,588人）となりました。

復興のフェーズの進展に伴い、これまでの東日本大震災・原子力災害伝承館や震災遺構浪江町立請戸小学校などでの「見る」・「聞く」に加え、新たなまちづくりに向けて取り組む団体や、進出企業等での受け入れにより、柔軟かつ幅広いニーズに対応してきています。

一方では、未だ原発事故の影響が色濃く残る地域もあり、変化しつつある状況を感じるツーリズムとなっています。ぜひとも各団体等の研修や人材育成での活用をご検討ください。

お問い合わせ先

（公財）福島県観光物産交流協会
TEL：024-525-4060



<https://www.hopetourism.jp/>



浅野燃糸（株）双葉事業所



福島を巡る宝探し～コード F15 ODYSSEY～

『福島を巡る宝探し～コード F15 ODYSSEY～』開催

スマートフォンの地図を頼りに、福島県内の19エリア25市町村を舞台に宝箱を探す、謎解きスタンプラリーを開催します。

15回目の開催となる今年は、県政150周年特別企画として、福島県の歴史や復興の歩みを学びながら、県内各地を巡って楽しめる内容となっています。

宝箱を発見すると、抽選で県内宿泊券や各地域特産品などの豪華賞品が当たるチャンス！

LINEからご参加いただけます。詳しくは、ホームページをご確認ください。

開催期間 7月25日（土）～12月20日（日）まで

お問い合わせ先

コードF事務局 TEL：0120-820-320
（9:00～17:00／期間中年中無休）

参加はこちらから▶



福島県の観光に関する情報は **ふくしまの旅** で検索。

※画像は全てイメージです。
※上記の内容は予告なく変更される場合があります。